

経理シンギュラリティ への到達

味の素グループが実現した自律型AI
による戦略的経理へのパラダイム
シフト

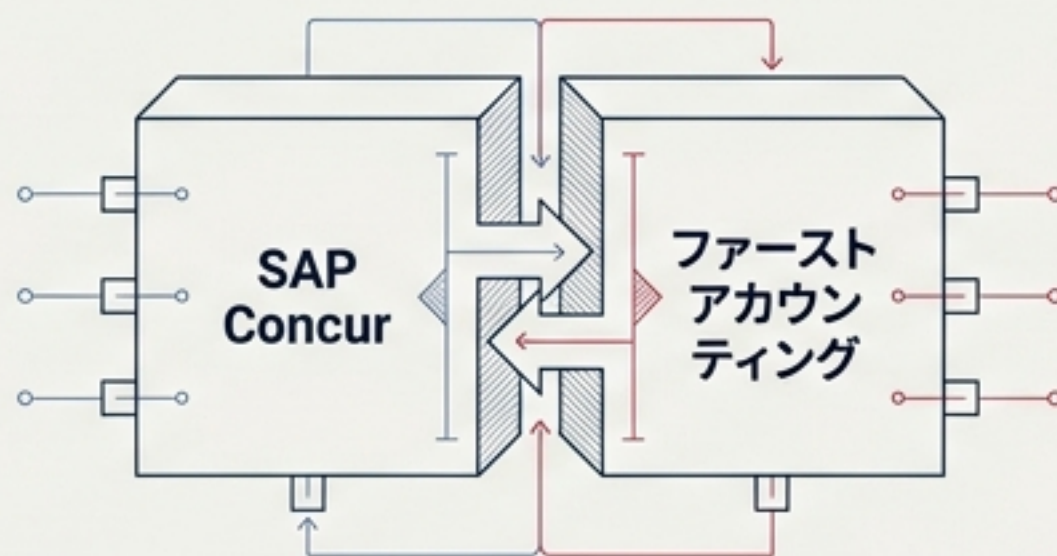
労働集約的オペレーションからの脱却と
1万時間のリソース創出

Executive Summary: プロジェクトの3つのハイライト

76% 削減

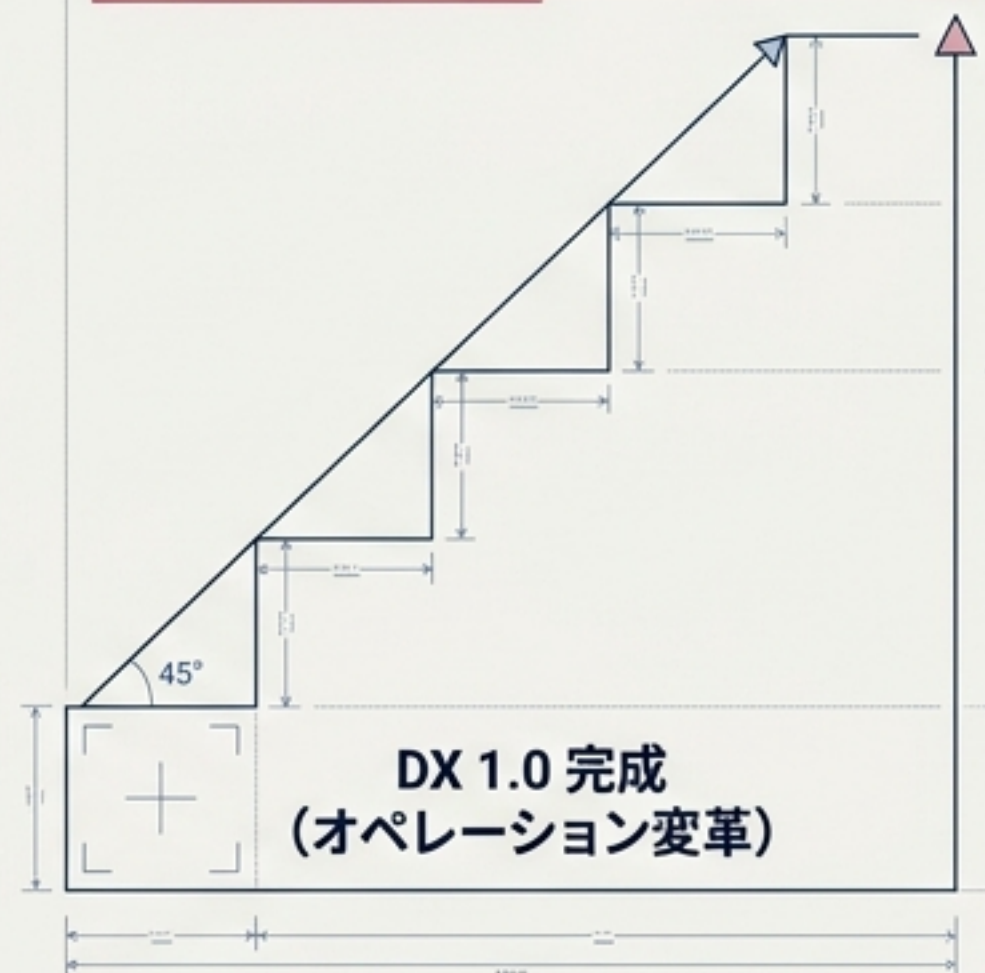
経理承認プロセスの工数

年間10,000時間創出



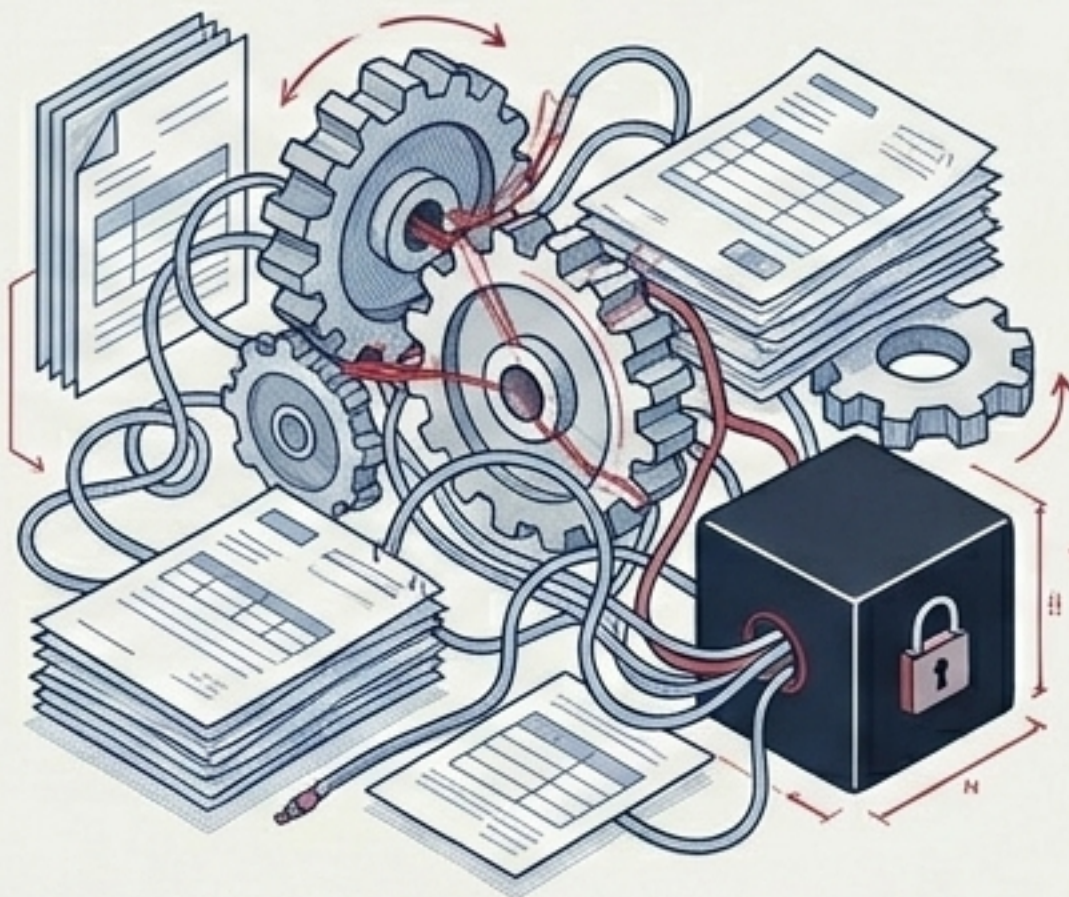
プロセス完全
自律化の実現

戦略的経理へのシフト



構造的課題：エンタープライズ経営が直面する2つの限界

属人化とブラックボックス



複雑な税法や社内規程の適用が特定の熟練担当者の記憶と経験に依存。担当者の異動や退職に伴うノウハウ喪失が重大なリスク要因となる。

BPOの限界：労働力アービトラージへの依存



定型業務の外部化には有効だが、高度な会計判断を要する非定型業務は移管困難。国内外のインフレにより中長期的な持続可能性が低下。

パラダイムシフト：経理シンギュラリティの前後比較

業務領域	過去のアナログプロセス 人間中心の手作業	経理シンギュラリティ 自律型AIによる変革
証憑処理	紙やPDFの目視による確認、 手動でのシステム入力作業	AI-OCRとPeppol連携による 自動抽出・自律的システム入力
仕訳処理	担当者の長年の経験則と記憶に基 づく手作業での勘定科目判断	AIによる過去データの自動学習と、 統計的根拠に基づく自律的仕訳
決算業務	膨大な人海戦術による目視突合、 深夜・休日に及ぶ残業の発生	AIによる常時・リアルタイム処理に よる圧倒的な工期短縮
監査対応	サンプリングベースの事後検証、 ヒューマンエラーの修正対応	全件データのリアルタイム検証の実現、 プロセスの透明性とガバナンス向上



技術的ブレイクスルー：自律型AIエージェントの動作メカニズム

3. エンドツーエンドの自律的アクション

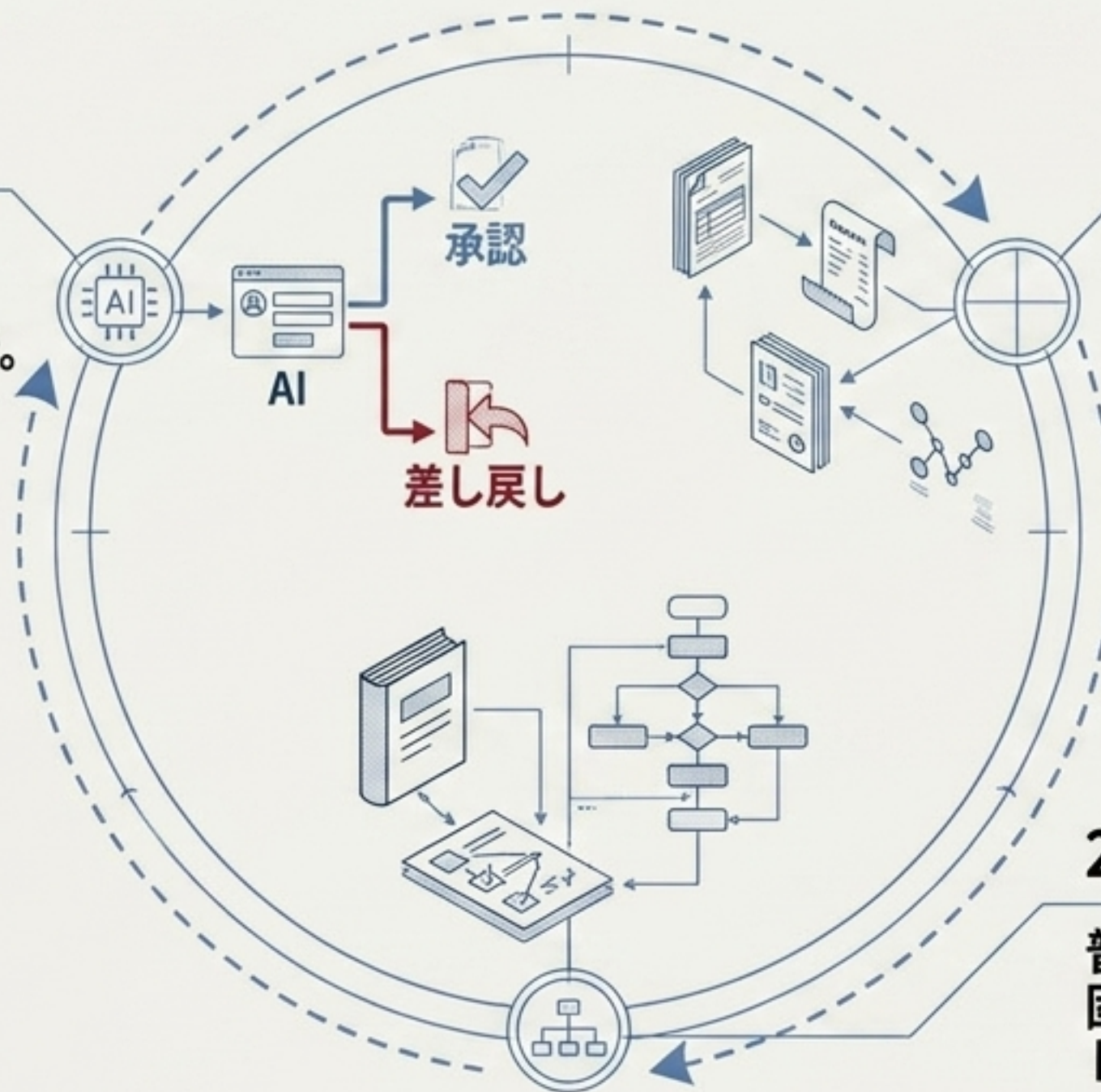
AIが自律的にシステムへログイン。基準を満たせば承認、不備があれば理由を明記して人間へ差し戻しを実行。

1. 情報の多角的な抽出と突合

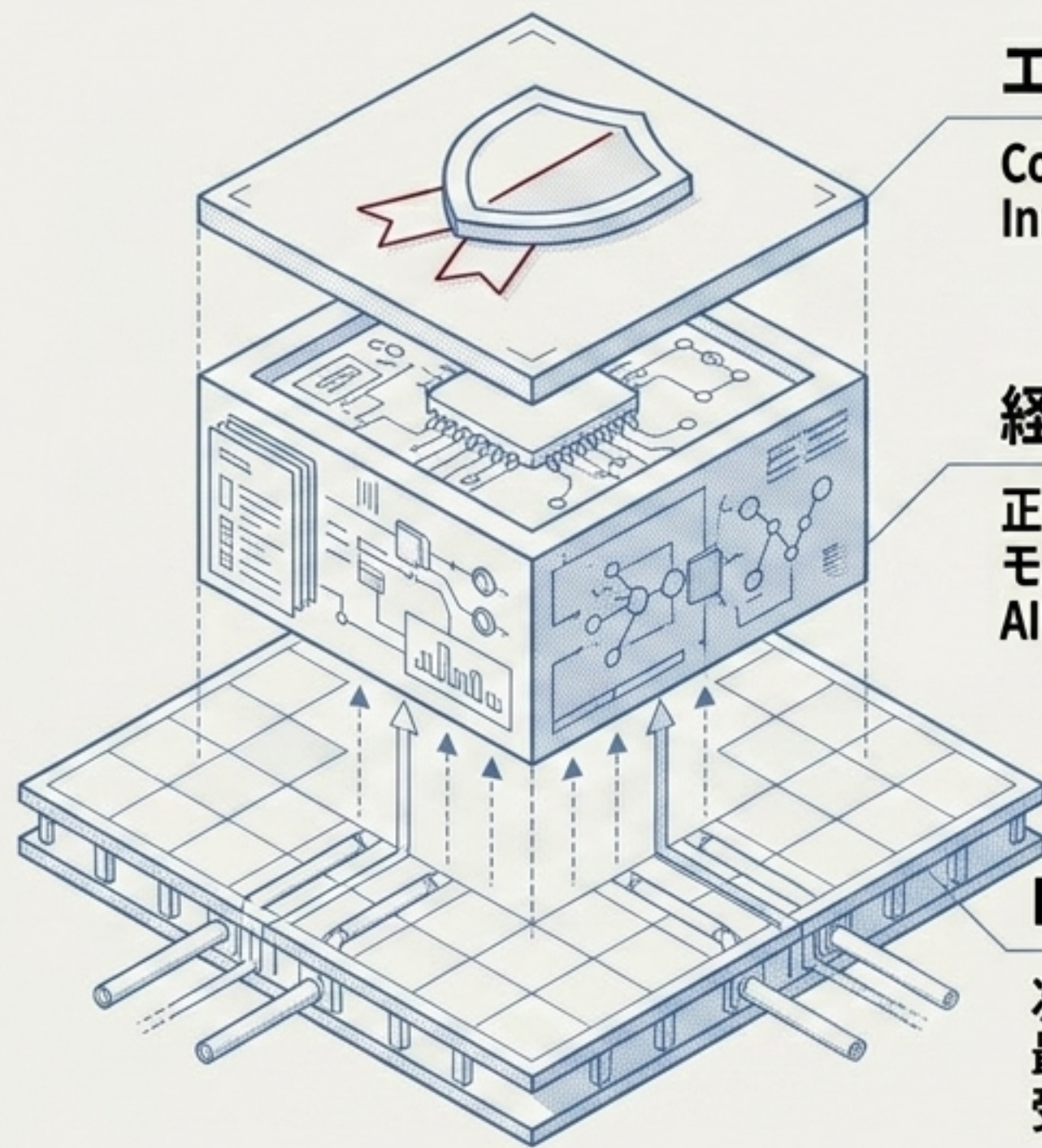
テキストデータを読み取るだけでなく、起票データと証憑（領収書等）の画像を総合的に比較・判定。

2. ルールの解釈と動的適用

普遍的な税法に加え、各グループ会社固有の複雑な社内運用ルールを学習し、トランザクションごとに動的適用。



経理特化型AIアーキテクチャ



エンタープライズ品質の証明

Concur Japan Partner Award 2024:
Innovation Partner Award 受賞。

経理特化型AI「Robota / Remota」

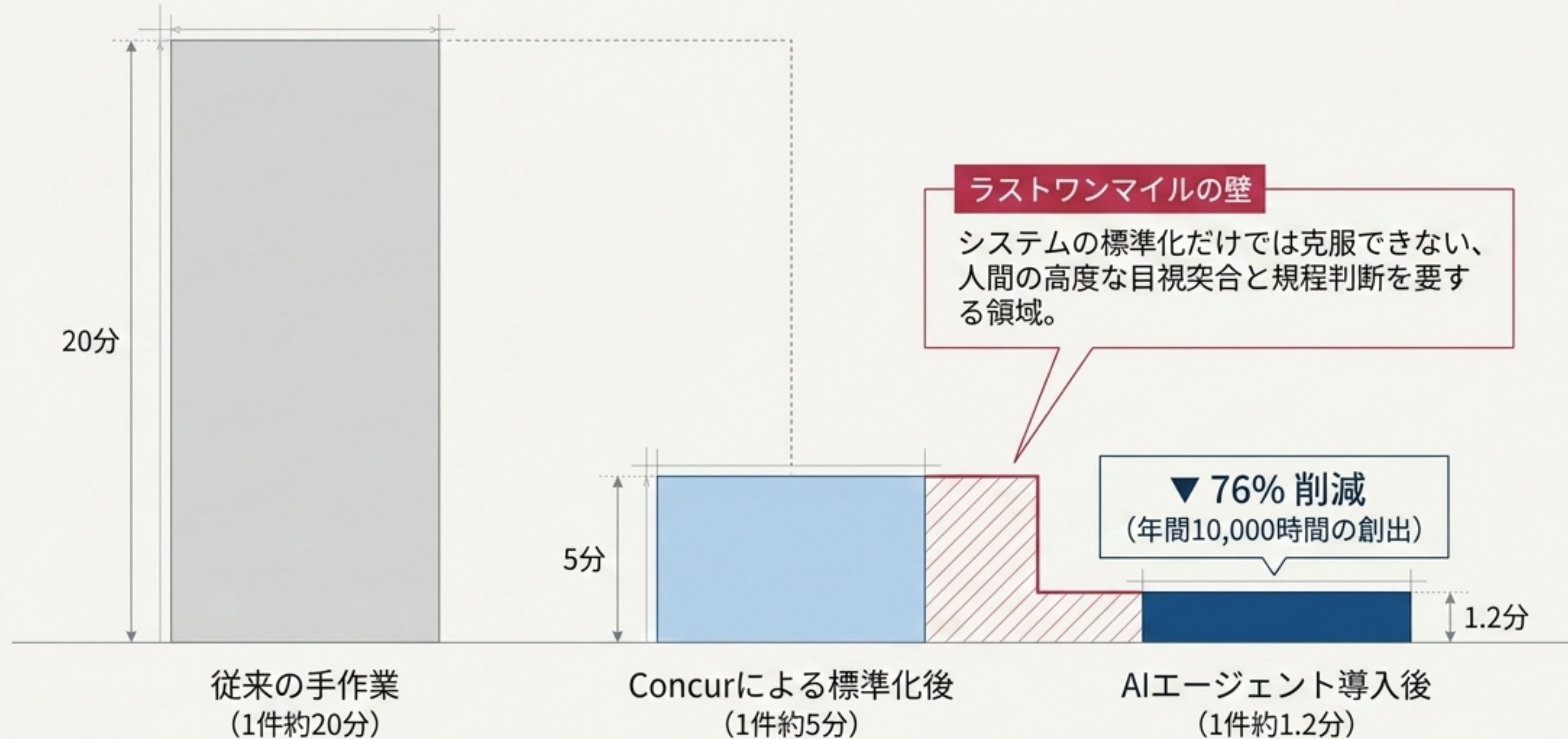
正答率93.3%を誇る経理領域に特化した独自
モデル。膨大なノウハウを学習し、汎用生成
AIに見られるハルシネーションを防止。

Peppol エコシステム

次世代のデジタルインボイス国際標準規格。
最初から構造化されたデジタルデータとして送
受信し、読み取りエラーをゼロに抑える基盤。

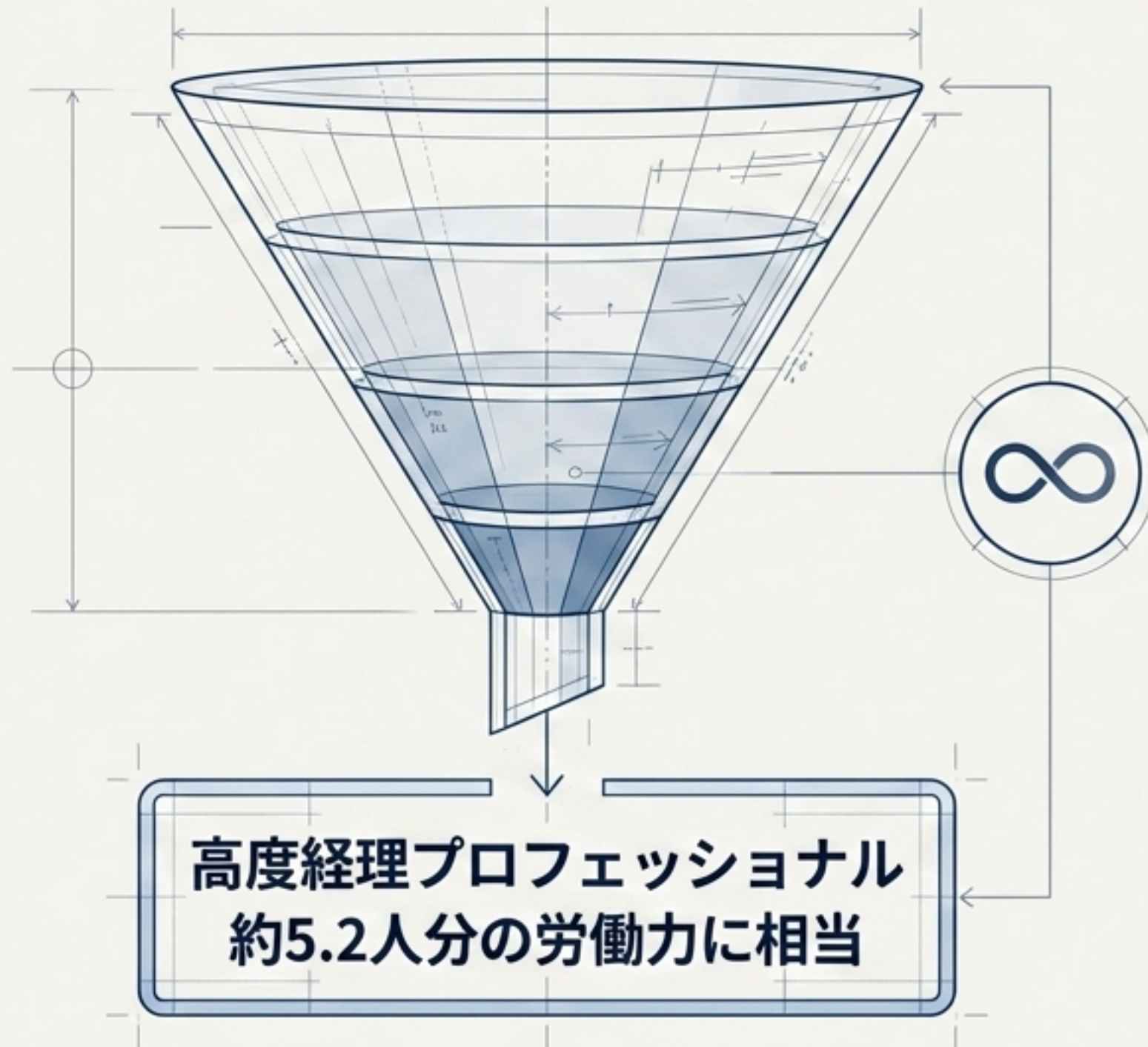


二段階の実装プロセス：プロセスの標準化から完全自律化へ



定量的ROI：年間10,000時間創出のインパクト

$$5分 \times 10,000件 \times 12ヶ月 = 10,000時間$$

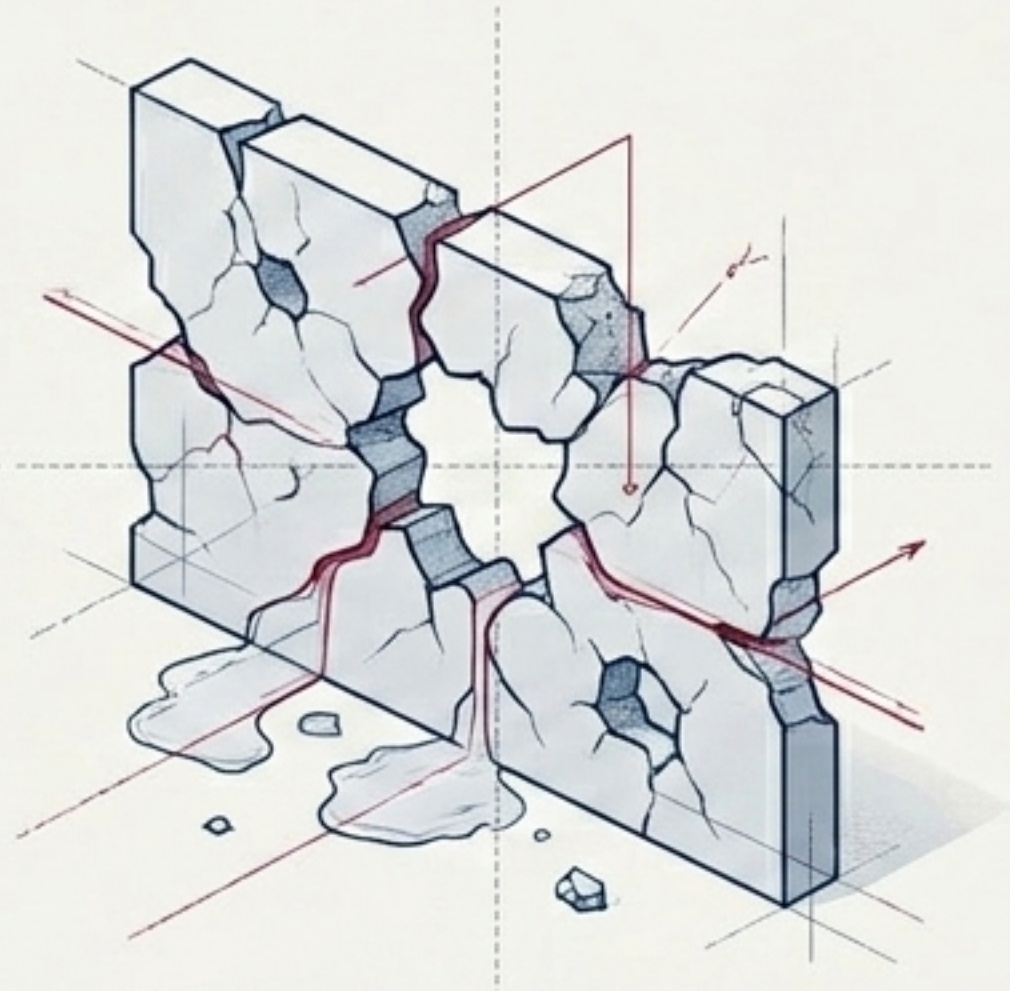


24/365の安定稼働

人間とは異なり、月末や期末決算の繁忙期においても疲労による処理速度の低下を起こさず、安定した承認プロセスを継続。

定性的ROI：強固なコーポレート・ガバナンスへの昇華

受動的チェック体制



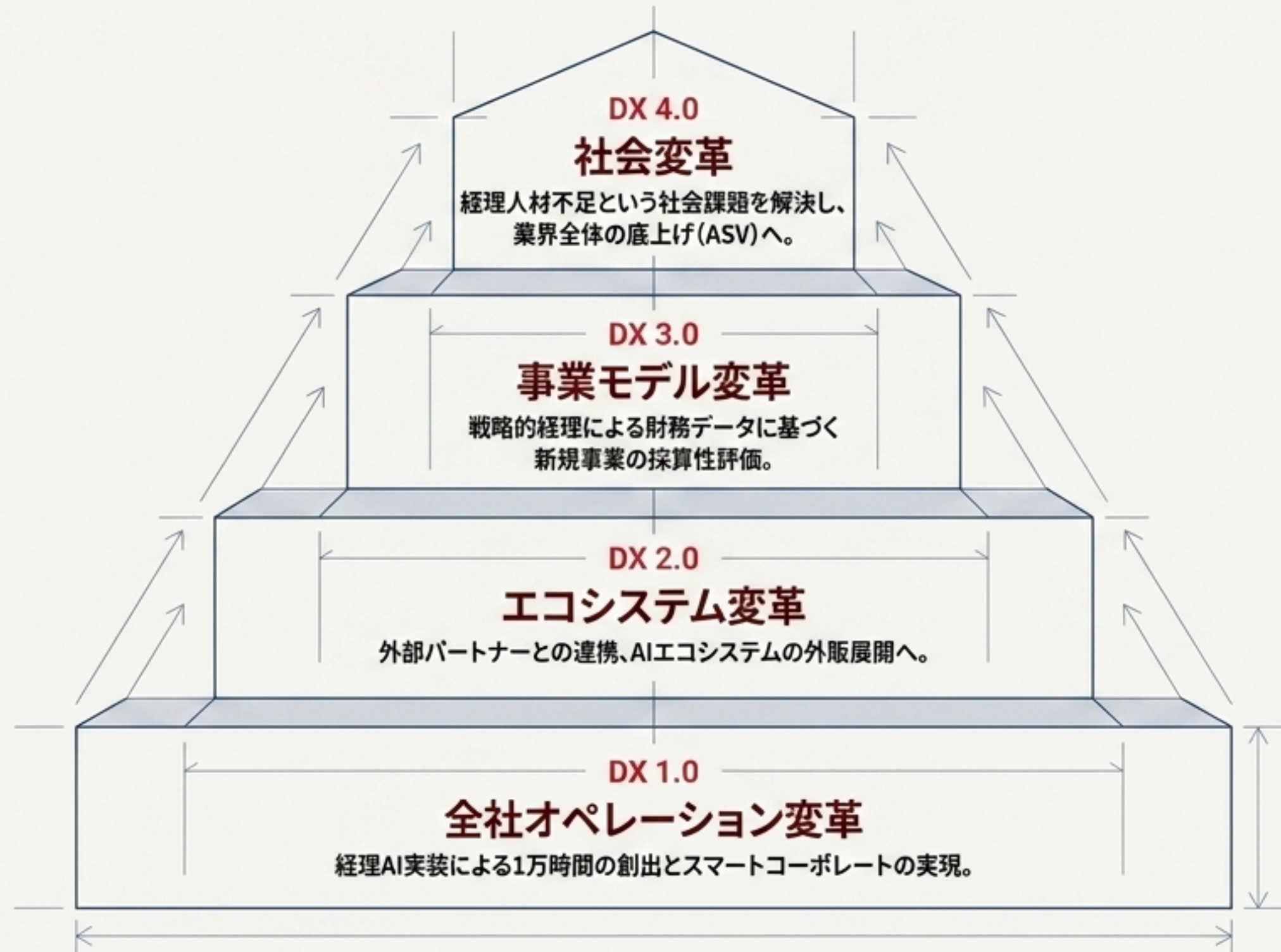
- 複数担当者の解釈の違いによる判断のブレ
- 疲労によるヒューマンエラーの発生
- 事後的にミスや不正を発見する限界

能動的・予防的ガバナンス

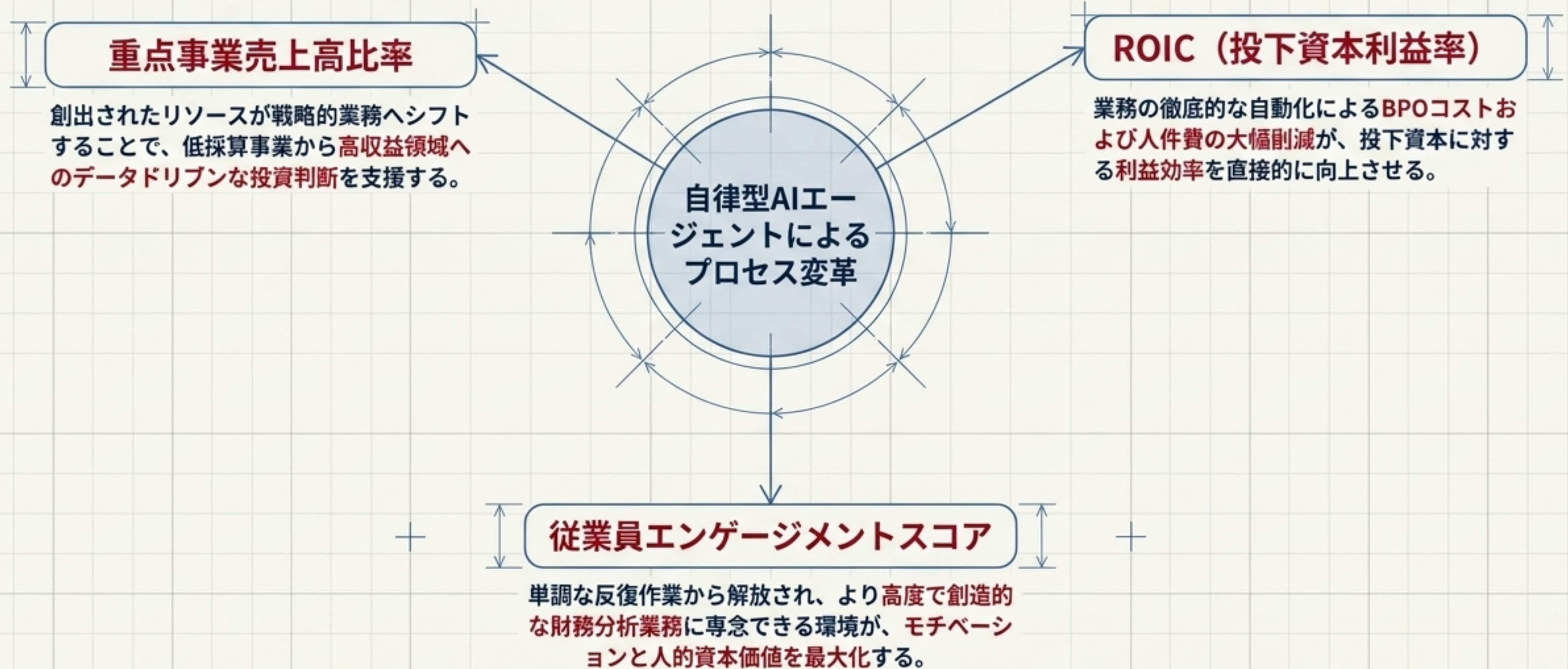


- 単一アルゴリズムによる絶対的な一貫性
- 全トランザクションのリアルタイム全件検証
- 二重請求や異常値を処理前に遮断する予防統制

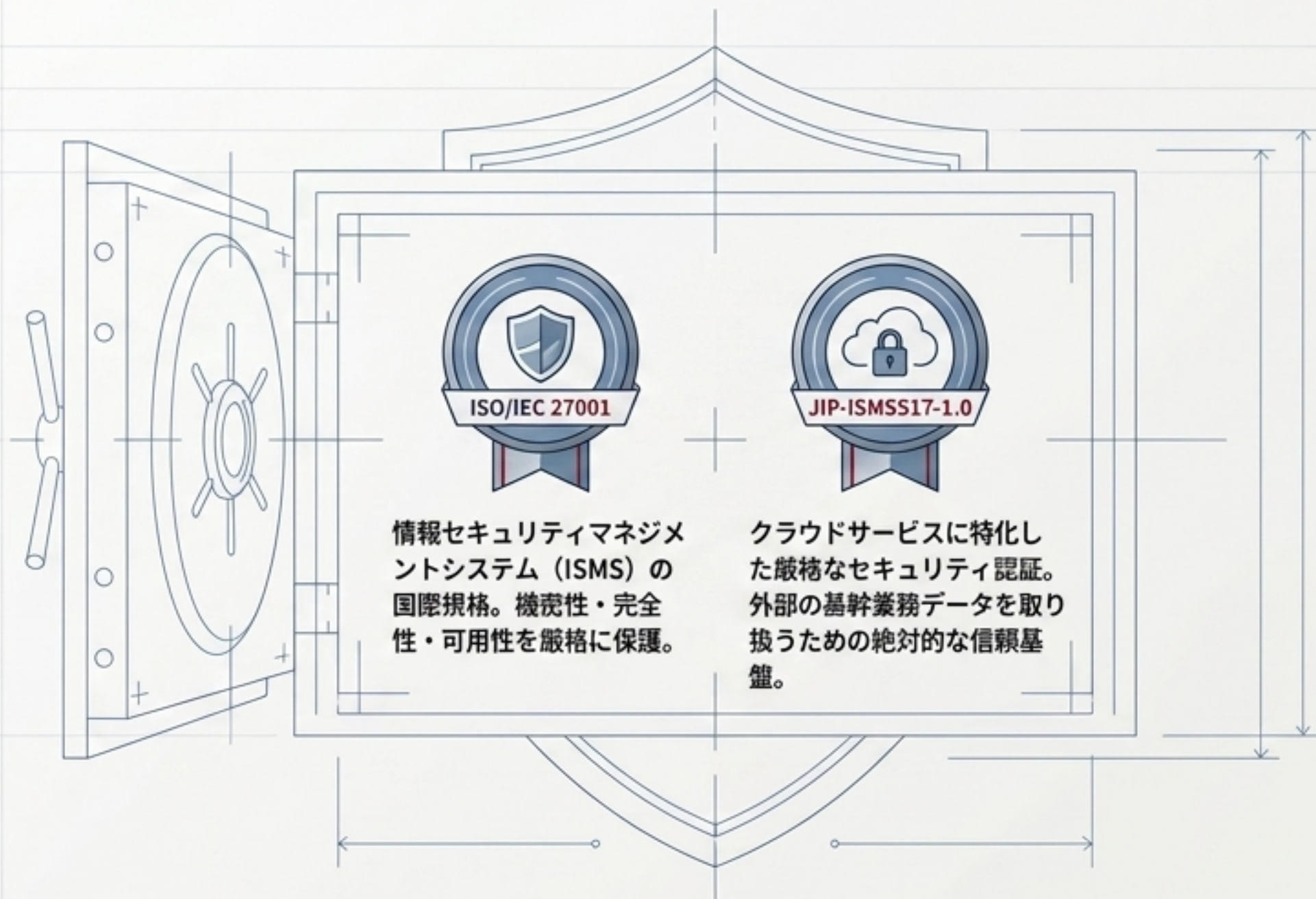
パーパス経営への統合：味の素グループのDX進化モデル



全社重点KPIへのインパクト



エコシステム展開の前提条件：エンタープライズ水準のトラスト構築



財務データという企業の最も機密性の高い情報を取り扱うため、第三者認証による世界最高水準のコンプライアンス体制を構築。

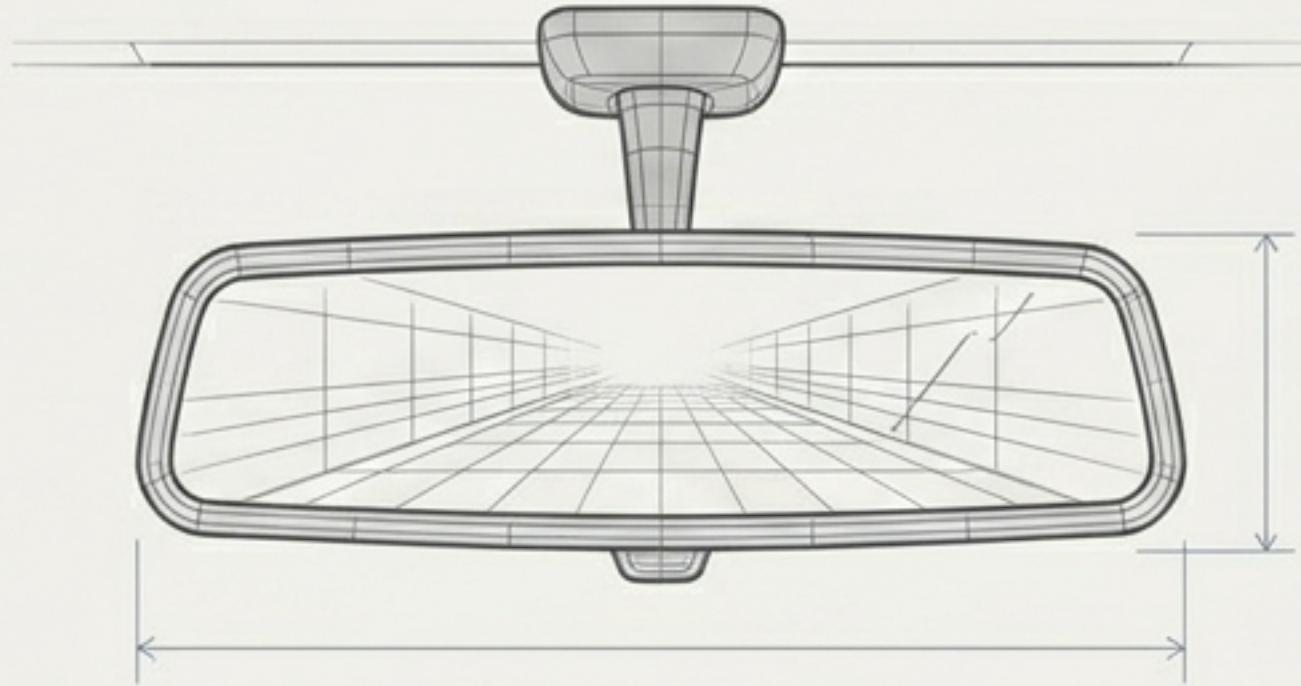
ホリゾンタル・スケール：他業界におけるAI導入ベンチマーク

企業名	業界	達成された定量的成果
味の素 (AFS)	食品・化学	経理承認工数 76%削減 、年間約1万時間創出
クラレ	化学・素材	経理承認の作業時間を 75%削減
明治安田生命保険	金融・保険	問い合わせ対応 85%削減 、経費精算 年間5,300時間削減
資生堂	化粧品	AI-OCR導入によるBPO連携の最適化とコスト削減

Insight: クラレ (**75%削減**) と味の素 (**76%削減**) の成果が極めて近似。経理の基盤ルールは普遍的であり、特定の企業風土に依存しない極めて高いテクノロジーの再現性を証明。

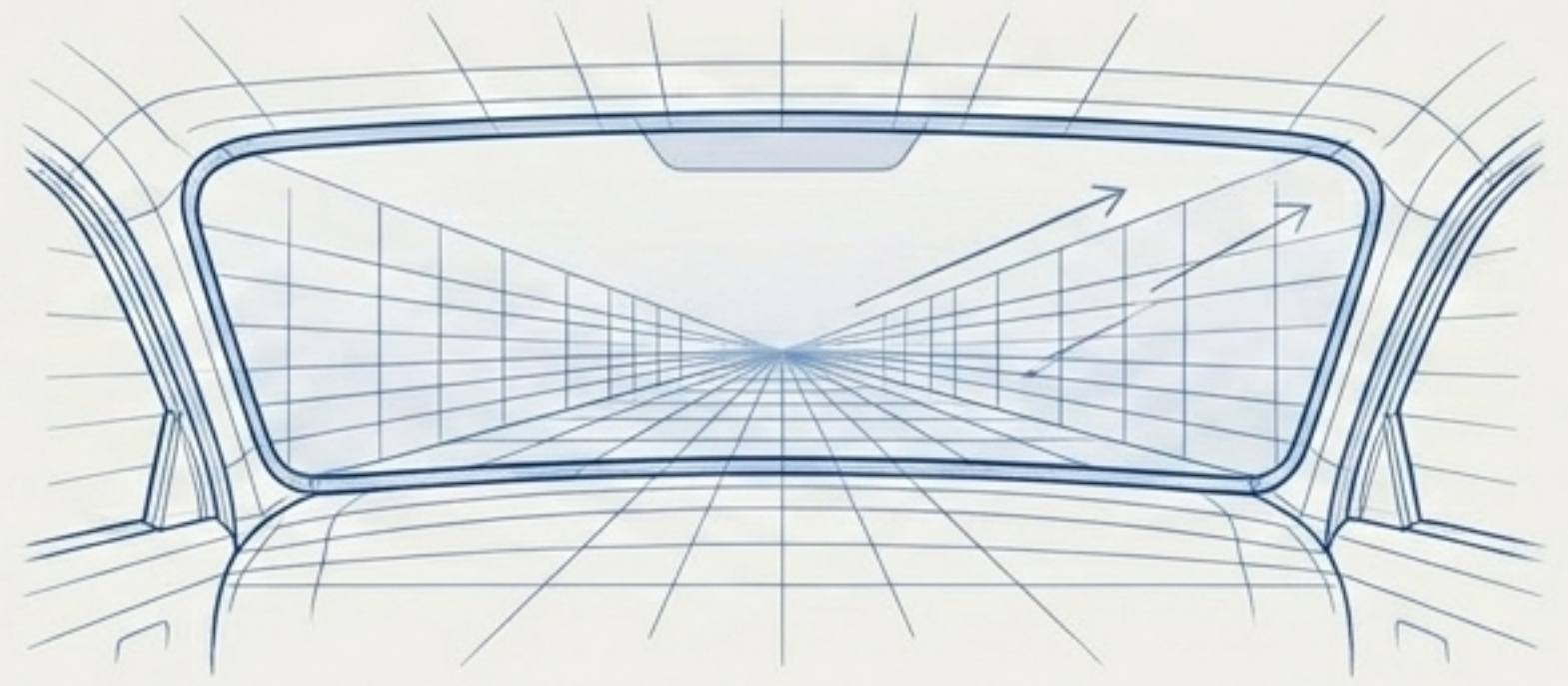
目指すべき未来像：『戦略経理 (Strategic Accounting)』への進化

バックミラー型 (コストセンター)



- 過去の取引を正確に記録し、報告する過去志向の役割
- 労働集約的な反復確認タスクへの依存
- データの事後的な処理と受動的なガバナンス

フロントガラス型 (ビジネスパートナー)



- AIが創出した余白を活用し、未来の事業成長を直接支援
- M&Aの精緻なデューデリジェンスと投資評価
- 地政学リスクを織り込んだ動的な財務シミュレーションの実行

“ 経理シンギュラリティは、
オペレーションの終着点ではなく、
戦略的企業価値創造の出発点である。 ”

単なるアルゴリズムの導入ではない。SAP Concurによる標準化、Peppolを見据えた
データ構造、そしてAIの自律化を、全社DX戦略（DX 1.0→4.0）とASVに統合
統合した経営層のグランドデザインこそが真の成功要因である。
この青写真は、日本産業全体の生産性を底上げするエンジンとなる。